

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成22年3月

1. 対策事業	津島市合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	津島市
3. 計画期間	平成22年4月～平成26年3月
4. 対象事業の進捗状況 「津島市合流式下水道緊急改善計画（H17年度策定）に位置づけた合流改善施策と、H22年3月現在の達成状況を示す。	
H17年度諸元	
日平均汚水量	14,200m ³ /日
平均汚水水質	114mg/l
処理能力	15,400m ³ /日
滞水池	7,000m ³
<ul style="list-style-type: none">・散水ろ床を廃止し、滞水池に改造する。・標準法を廃止し、滞水池に改造する。	
(達成率)	
・汚濁負荷削減率	: 0%
・公共衛生上の安全確保	: 0%
・きょう雑物の除去	: 100% (=スクリーン (目幅 35mm) を設置済み)
なお、本市では、以下の理由からH21年度に合流改善計画を見直した。その結果、H25年度までに新設する施設は、散水ろ床の改造のみとした。	
H21年度諸元	
日平均汚水量	10,100m ³ /日
平均汚水水質	77mg/l
処理能力	15,400m ³ /日
滞水池	3,500m ³
(合流改善計画の見直しが必要となった理由)	
<ul style="list-style-type: none">・大規模工場が廃止し、処理場への流入下水量が大幅に減少したため、合流改善計画を見直す必要があった。・国土交通省の合流改善目標設定に対する考え方が一部緩和され、合流改善対策の低コスト化、早期目標達成等に配慮した合流改善計画を策定できるようになった。	
(変更した施策)	
・標準法を廃止し、滞水池に改造する → 中止 (散水ろ床の改造のみで達成可能)	

5. 目標の達成状況と達成の見通し

- ① 汚濁負荷量の削減 : H25年度に達成する見通し
- ② 公衆衛生上の安全確保 : H25年度に達成する見通し
- ③ きょう雑物の確保 : 達成済み

項目	BOD放流負荷量 (t/年)	未処理放流回数 (回/年)	備考
目標	41.04	10	
現況 (H21年度)	59.68	21	
対策後 (H25年度)	41.01	10	散水ろ床の改造
目標達成率	100% (達成)	100% (達成)	

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

平成25年度までに実施する全対策を本事業に位置づけるため、対象事業の整備効果の発現状況については、100%の効果発現となる見通しである。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- 新規施設の導入を避け、既存施設である散水ろ床を滞水池へと改造し有効利用する。
- 処理場の運転方法を工夫し、効果的に放流負荷量を削減する。
- 汚水量・汚水水質が減少したことにより計画を見直した結果、H25年度までに目標を達成できる見込みとなった。

8. 今後の方針

平成25年度までに、散水ろ床を改造し、滞水池として使用可能にする。